

# マーケットの値動きが気になる？

## 【一喜一憂すると疲れる】

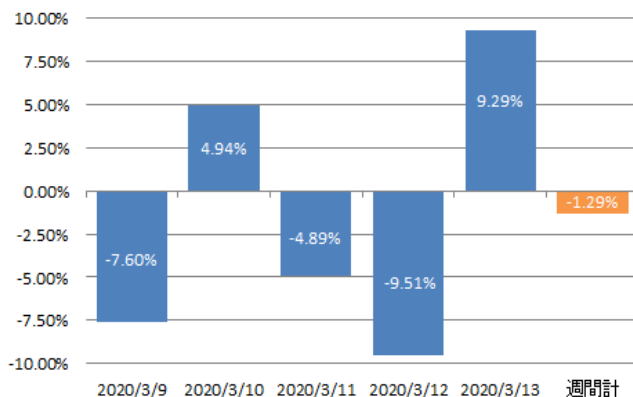
新型コロナウイルスの感染拡大について、WHO（世界保健機関）は11日「パンデミック（世界的な大流行）と言える」との認識を示しました。各国は財政出動や金融政策を矢継ぎ早に打ち出すことで、経済停滞への影響を最小限に止めようと取り組んでいます。

メディアは日替わりでプラスのニュースとマイナスのニュースを伝え、それと呼応するように市場は乱高下を繰り返しています。右図は米国を代表する株価指数S&P500の騰落率を示したものです。結局のところ**1週間を通してみると僅かな下落率**で終了していることがわかります。

多くの方が口にする「投資は長期で」との言葉とは裏腹に、日々の値動きを見て一喜一憂しているのが実情でしょう。

阿波踊りは「踊らにゃそんそん」ですが、投資家は市場に踊らされる必要はありません。疲れるだけです。

【S&P500の騰落率】  
(2020/3/9-2020/3/13日次)



出所：Bloombergのデータを基にセゾン投信(株)作成

## 【市場の動きの予想は行いません】

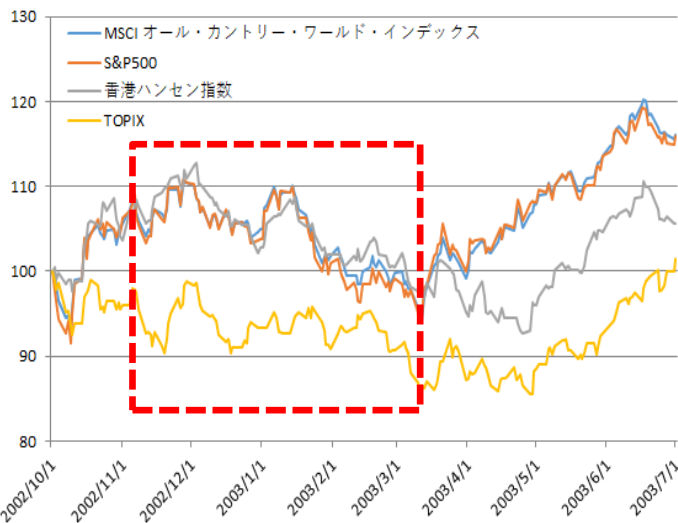
おかげさまでセゾン投信の2ファンドには2月下旬より連日多くの買付け注文が入っています。下落したところで売却すると、下落したところで購入すると、その後に市場が上昇に転じた場合、どちらが投資の成果を得られるのかは明白です。

**「市場の動きの予想は行いません」。これはセゾン投信の運用哲学です。市場の動きを当て続けるなど不可能に近いことは今週の乱高下を目にすればご理解いただけるでしょう。大切なことは常に投資行動を続け、市場から逃げないことです。**

歴史を振り返ると、地に足の着いた投資行動ができず右往左往すると必ずと言ってよいほど市場から退場させられてしまいます。そのような人々に限って学ぼうとはせず、「投資はもうコリゴリ」と愚痴をこぼすだけです。

時々訪れる比較的大きな下落を機会と捉えるのは長期投資において重要な行動であるとセゾン投信は考えます。それでもここが底値であるか否かは不明です。だからこそ更に重要と考える基礎的な行動は毎月の積立投資を淡々と継続していくことです。

【SARSコロナウイルス騒動時の市場動向】  
(2002/10/1-2003/7/1日次)



出所：Bloombergのデータを基にセゾン投信(株)作成

## 【不要不急の需要はいつか戻ってくる】

新型コロナウイルスが収束するのはいつなのか。それは誰にもわかりません。しかしながら中国では既に新規感染者の増加がピークアウトしたとの報道もあります。ちなみに過去、SARSコロナウイルス（2002年11月以降）が世間を賑わせた期間を振り返ってみましょう。左図の通り、当時の株式市場は約4か月間下落した後、反発しただけでなく更なる高値を付けました。

現在、各国で渡航制限が出される、非常事態が宣言される等の措置が行われています。私たちの日常生活においても時差出勤、リモートワーク、小中高の休校などが実施され、不要不急の外出を控える状況が続いています。

それでも明けない夜はありません。新型コロナウイルスによって無理に抑え込まれた状態の需要はいつの日か戻ってきます。その日に備えて**リズムを崩すことなく行動するのが長期投資家**です。セゾン投信は皆さまの長期の資産形成のお手伝いを続けてまいります。

## ご留意事項

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 投資信託に関するリスクについて

### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。

当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

## 投資信託に関する費用について

### ◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料：ありません。
- 信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用：

#### セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.506%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度（税込）となります。

#### セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.583%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%程度（税込）となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

## 当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

## 当資料で使用している指数について

S&P 500はS&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（S&P DJI）の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失（収入の損失、利益の損失、機会費用を含む）について一切の責任を負いません。

「MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス」とは先進国23カ国と新興国26カ国の計49カ国で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会